スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

広島県府中市

自 治 体 名 ： 府中市教育委員会
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0847-44-9026

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	195.75 ㎢
人口	34,846 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	788人
部活動数 （運動部活動のみ）	36 部活
地域クラブ活動数	2 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

（現状・課題）

①児童生徒数の減少による活動の制限

市の人口減少とともに、府中市立学校の児童生徒数も減少傾向にあり、令和7年度の2,118人に対し、令和12年度では1,619人にまで減少する見込みである（生徒数：令和7年度の788人から令和12年度では668人まで減少見込み）。

生徒数の減少に伴い、各学校の部活動の数や活動が限定されつつあり、大会に参加するときは、合同チームで参加する部活動もある。

②中山間地域における指導者の確保や地理的な困難さ

現在は、部活動の指導者等の人材バンク登録者やスポーツ協会の連盟員、兼職兼業による教員等を指導者として派遣し、地域展開を実施している。これらの取組を通して、競技の専門性の向上及び担当教員の負担軽減を図っている。

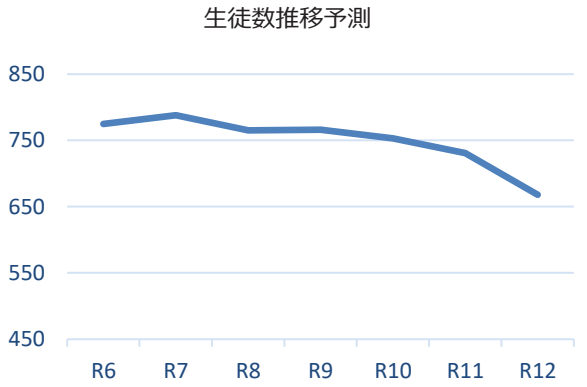
しかしながら、実施している種目以外の指導者の確保が難しく、地域展開に係る取組が停滞している。また、学校間の距離があり、保護者に送迎等の負担がかかる（市内の中心部まで車で40分を要する学校がある）。

③財源の確保に向けた取組

地域部活動の運営に必要な費用（施設利用料、備品購入費、指導者謝礼など）が必要であるため、ふるさと納税、クラウドファンディング、企業や地域団体からのスポンサー支援などの手法を検討している。

④コーディネーターの役割の設定

ソフトテニス部の活動において、指導者の調整、顧問の教員との連携、実績簿の整理、活動場所の確保、参加生徒の出欠確認及び電話連絡、怪我や緊急時の対応など、コーディネーターの役割として位置付け、教育委員会担当者と連携を取りながら、取り組んでいる。

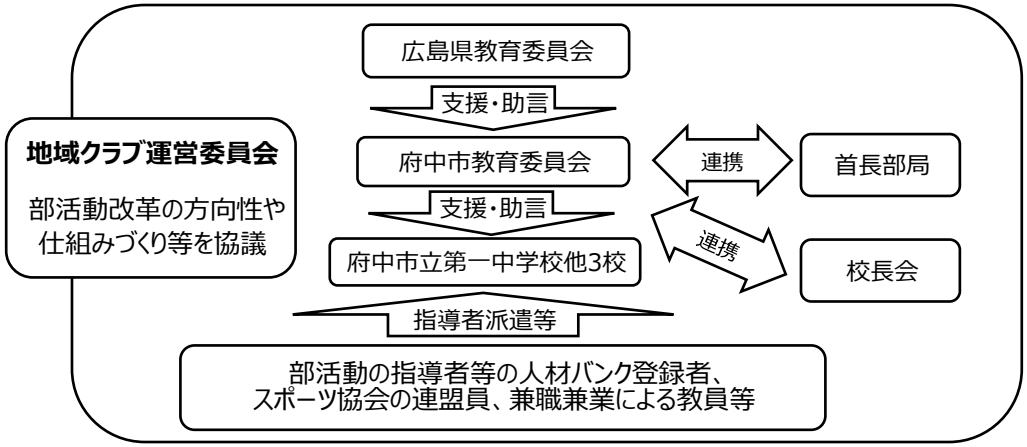


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・部活動改革の実施主体（企画・運営、人材バンク管理、指導者派遣等）
・関係団体等との連絡調整、関係者への説明会の実施
・コーディネーター（各種目）との情報連携及び指導助言

◉首長部局

・教育委員会と連携
・社会体育施設の利用に係る規約の見直し等
・文化芸術・スポーツ団体、スポーツ協会、スポーツ推進員等との連携・ヒアリング

年間の事業スケジュール

令和7年4月	第一中サッカー部の活動開始
令和7年6月	ソフトテニス部の生徒、保護者、指導者への説明会の実施
令和7年7月	ソフトテニス部の活動開始
令和7年11月	第1回府中市地域クラブ運営委員会の開催
令和8年2月	第2回府中市地域クラブ運営委員会の開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（7部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	2人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
府中市地域クラブ	地域団体・人材活用型	サッカー	月4回	9:00～12:00	第一中 1年：7人 2年：7人 3年：10人	R7.4月～R8.2月	第一中グラウンド他	2人	2人（内、兼務2人）	月会費：1,000円 ※遠征費等により、変動有	中体連：部活動 その他：地域クラブ
府中市地域クラブ	地域団体・人材活用型	ソフトテニス	月2回	9:00～12:00	第一中、府中明郷学園、府中学園 1年：32人 2年：18人 3年：7人	R7.7月～R8.2月	府中市中須グラウンド他	7人	2人（内、兼務2人）	なし	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

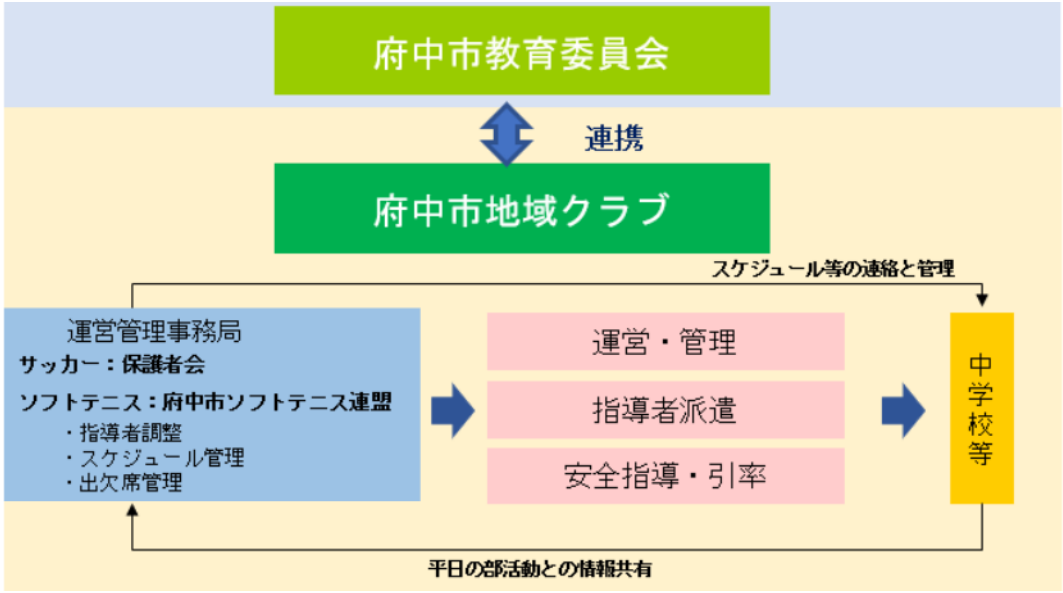
スポーツ庁

主な取組例

●府中市地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で 実施した種目	サッカー、ソフトテニス
運営団体名	府中市教育委員会
期間と日数	サッカー：4月1日～2月27日 月4回程度 ソフトテニス：7月1日～2月27日 月2回程度
指導者の主な属性	地域の方、兼職兼業の教員
活動場所	府中市立第一中学校グラウンド 府中市中須テニスコート　他
主な移動手段	自転車、徒歩、保護者の送迎
1人あたりの 参加会費等（年額）	サッカー：12,000円 ソフトテニス：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●コーディネーター

役割：活動における責任者として、指導者の調整、活動場所の利用調整、スケジュール管理、学校や指導者との連絡調整、保険対応、保護者連携等を行う

●地域スポーツ指導者

役割：活動において、生徒への指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・府中市地域クラブ運営委員会において、府中市の部活動の地域展開のあり方について協議し、関係団体や関係学校と連絡調整等を行うとともに、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

取組の成果

・府中市地域クラブ運営委員会において、府中市スポーツ議員連盟（市議会議員）、府中商工会議所、府中市CS連絡協議会、中学校校長会長、中体連会長、PTA連合会、府中青年会議所、市長部局（スポーツ振興課等）、教育委員会等からなる構成員で協議することで、府中市の部活動の地域展開・地域連携のあり方について多面的・多角的な意見を交わすことができた。

今後の取組における課題

・各種目のコーディネート業務を担う人材の発掘、業務内容や人件費の要件や基準等を設定する必要があると考える。

課題への対応方針

・細かい要件や基準について、本市の実態に合った形態を構築できるよう府中市地域クラブ運営委員会にて協議していく。



【府中市地域クラブ運営委員会】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・府中市独自で人材バンクを設置し、指導者の確保に努める。
・指導者に対しては、体罰及びセクシュアル・ハラスメント等の防止について研修を実施し、不適切な指導がないよう、取り組む。また、コーディネーターを通して、指導方針を伝え、教育委員会から指導助言を行う。

取組の成果

・部活動の指導者等にかかる人材バンクを設置し、案内チラシを作成及び配布するとともに、府中市HPや府中市公式SNS等を活用して周知拡大を図った。（令和7年度人材バンク登録者：7名）
・体罰やハラスメントに関する課題について、問題が顕在化する前の段階で研修や指導を行うことによって、未然防止に繋がった。

今後の取組における課題

・部活動の地域展開を進めるために、さらに広く周知し、指導者の確保を進めていく必要がある。

課題への対応方針

・教職員や市職員の兼職兼業、スポーツ団体や企業、大学等からの指導者派遣など、府中市全体で取組を推進していく。



【人材バンク チラシ】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・スポーツ協会、文化芸術団体、府中青年会議所、地域企業などとの連携を強化し、指導者や支援者を確保することで、子どもたちが充実した活動環境の中で成長できる支援体制を多方面から構築する。
・中学校校長会長や中体連会長と密に連携し、部活動改革の具体的な取り組みや方向性を継続的に協議することで、現場の声を反映した実効性のある施策を展開する。

今後の取組における課題

・競技団体や総合型地域スポーツクラブ、近隣市町など多様な団体等と連携がとれておらず、団体が保有する人的資源やノウハウを活用できていない。
・生徒・指導者の増加により、連携ミスや過誤が発生しやすくなり、指導活動の円滑な遂行や環境の質の低下、さらには安全性への懸念に繋がる恐れがある。

取組の成果

・スポーツ協会のソフトテニス連盟が中心となり、市内のソフトテニス部の部活動を月2回程度、地域クラブとして活動している。コーディネーターが参加者管理、指導者の調整、活動場所の利用調整、スケジュール管理、学校や指導者との連絡調整、保険対応、保護者連携等を丁寧に行っているため、円滑に活動することができた。

課題への対応方針

・近隣の団体や総合型地域スポーツクラブ等と包括的な連携協定を結ぶなど繋がりを強化し、質の高いスポーツ指導、幅広いスキルレベルに対応できる環境を整える。
・組織全体として効率的な情報管理と共有の仕組みを整えるため、情報共有を円滑化するためのITツールやプラットフォームの活用を検討する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

〇府中市地域クラブ運営委員会の開催により、部活動改革の理念等を共有し、来年度以降に制定する「府中市認定地域クラブ活動認定要綱」について協議することができた。

（理念）

・市内全ての子供たちの「やってみたい」に応える環境づくり

・多様な地域で、多様な世代とともに、多様な文化芸術・スポーツ活動等への参加が可能な環境づくり

・地域・地元企業も巻き込んだ大人の「やってみたい」も実現するまちづくり

〇中山間地域における指導者の確保や地理的な困難さに対し、1つの団体等に受け皿としてお願いするのではなく、部活動の指導者等の人材バンク登録者やスポーツ協会の連盟員、兼職兼業による教員等を指導者として派遣し、サッカーとソフトテニスについて地域展開を試験的に実施することができている。しかしながら、他の種目の指導者の確保が難しく、地域展開に係る取組が停滞している部分もある。

●成果の評価

・人材バンクを設置し、案内チラシを作成及び配布するとともに、府中市HPや府中市公式SNS等を活用して周知拡大を図ることで継続的な指導者確保に繋がっている。

・ソフトテニス部の地域クラブ活動において、指導者の調整、顧問の教員との連携、実績簿の整理、活動場所の確保、参加生徒の出欠確認及び電話連絡、怪我や緊急時の対応などをコーディネーターの役割として位置付け、教育委員会担当者と連携を取りながら、取り組むことができている。来年度以降も、円滑に取組が推進されるよう、必要に応じて役割を見直していく。

・指導者に対しては、体罰及びセクシュアル・ハラスメント等の防止について研修を実施したり、コーディネーターを通して、指導方針を伝えたりするなど、教育委員会から指導助言を行うことでトラブルの未然防止に繋がった。

●今後に向けて

・細かい認定要件や基準について、本市の実態に合った形態を構築できるよう府中市地域クラブ運営委員会にて協議していく。

・財源の確保に向けた取組に向けて、ふるさと納税や賛助会員制、企業等からの寄付など、様々な方法を検討の上、府中市にふさわしい形を整備していく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料



【地域クラブ活動（ソフトテニス）スタート時の様子】



【地域クラブ活動（ソフトテニス）練習の様子】



【府中市地域クラブ運営委員会　協議の様子】



【地域クラブ活動（サッカー）生徒による部活動の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年

府中市地域クラブ運営委員会の設置

府中市地域クラブ認定要綱の検討

令和8年

学校、関係団体等との調整

府中市地域クラブ認定要綱の制定

令和9年～

認定要綱の元、実証事業を実施

児童生徒・保護者へ説明

〇学校、関係団体等との調整

●活動内容

人材の発掘・マッチング・配置に関する取組。

●経過

令和5年度より、一般社団法人府中青年会議所と連携している。

●実施にあたって生じた課題

予算内での人材配置になるため、財源の確保が必要となる。

●実施内容、工夫した点　等

スポーツ協会、競技団体、大学、企業等と連携し、本市独自で設置した人材バンクを活用して、指導者の確保を行う。

〇地域クラブ活動の仕組みづくり

●活動内容

事務局を中心に認定要綱を作成し、地域クラブの受入体制を整える。

●経過

令和7年度中に案を作成し、協議を行っている。

●実施にあたって生じた課題

適切な参加費や指導者条件など、府中市の基準をどこに設定するか十分に協議が必要である。

●実施内容、工夫した点　等

多様な関係団体と連携し、府中市の実態に合った認定要綱を定め、関係者に周知していく。

〇地域クラブ活動の開始

●活動内容

令和9年度より可能な種目から、休日の部活動を地域クラブへ移行する。

●経過

現在、サッカーとソフトテニスの種目については実証的に地域クラブ活動に取り組んでいる。

●実施にあたっての課題

指導者の確保、財源の確保

●実施内容、工夫した点　等

各種目にコーディネーターを配置し、円滑に地域クラブ活動の運営ができるような組織を構築する。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
府中市の方針	R10までに、可能な種目から月1回以上、地域展開（実証事業）				休日のすべてを地域展開		
			府中市地域クラブ認定要綱の元実証事業を実施				
				児童生徒・保護者への説明会			
推進体制	R7.10月　運営委員会の立ち上げ（年間開催回数） R7.2回　R8.以降3回程度				必要に応じて開催		
	事務局の体制整備	年度内 府中市地域クラブ認定要綱の検討・完成	～R10.6月 府中市地域クラブ認定要綱の修正・完成				
		専門部会の運営（自走）に向けた協議 ・指導者の確保・活動場所の確保・運営費用 ・中体連との連携・申し込み集約等		R11.4月からの地域展開に向けて最終協議			